

第1回ほっかいどう未来チャレンジ応援会議 文化芸術部会 議事録

日時 平成31年4月9日(火) 13時30分～14時10分

場所 北海道庁本庁舎地下1階総合政策部会議室

出席者 別紙のとおり

- 議題
- 1 平成30年度の事業実施状況等について
 - 2 平成31年度の事業計画等について
 - 3 審査について
 - 4 事業再構築について

議事

(1) 議題1 (平成30年度の事業実施状況等について)

ア 事務局(永田主幹)から資料1に基づき説明

(特記事項) なし

イ 質疑応答 (有・無)

(2) 議題2 (平成31年度事業計画等について)

ア 事務局(永田主幹)から資料2に基づき説明

(特記事項) なし

イ 質疑応答 (有・無)

(3) 議題3 (審査について)

ア 事務局(永田主幹)から資料3-1～3-7に基づき説明

(特記事項) なし

イ 質疑応答 (有・無)

(北海道情報公開条例第10条第1項第6号に基づき非公表)

(4) 議題4 (事業再構築について)

ア 事務局(酒井参事)から資料4に基づき説明

(特記事項)

- ・ 年齢要件の引き上げについて、昨年度にスポーツ、文化芸術、未来の匠部会委員にご意見を伺ったところ、基金の設立趣旨が「北海道の未来を担う若者の応援」であることから、慎重に考えるべきとの回答が大勢を占めたことを説明。

イ 質疑応答 (有・無)

(5) その他

○応募状況についての質問

若狭事務局長) 応募が始まったばかりだが、今日時点で応募状況に動きはあるか。

永田主幹) 相談はあったが、今日時点では未だ応募は無い。

酒井参事) 募集期間は25日までなので、委員の皆様の所属大学や団体に留学を検討している方がいたら、基金についてのご紹介をお願いします。

○基金の運用について

田尻副理事長) 基金の資金はどのように運用しているのか。

原田主査) 道庁全体で他の基金も含めて合同預託という最も利率の高い手続きがあるので、それにより運用している。また、そちらの手続きに間に合わない部分は、定期預金で運用している。

以上